

Quint

業界初のデンタルフリーマガジン
“アドクロ”

DENTAL

AD Chronicle

2023

巻頭特集 1

2023年 No Dentistry No Wellness
継承と革新から創造する歯科の未来

築山鉄平 / 天野敦雄 / 陸 誠 / 山中隆平 / 岡藤範正 / 石谷徳人 / 角 祥太郎

巻頭特集 2

歯科界大注目企業～ focus on ワールドデンタルショー 2023

デンツプライシロナ株式会社

すべては革新的なイノベーション創造のために
—デンツプライシロナ社のデジタル技術、さらなる高みへ—

橋爪英城 / 林 洋介 / 山崎長郎 × 尾島賢治

巻頭特集 3

歯科界大注目スタディグループ 2023

JAAO

国内でのアライナー学術の“フロントランナー”
日本アライナー矯正歯科研究会の進化と発展 2023

JAID

グローバルスタンダードを目指す JAID 2023

MID-G

スタディグループ界のオールラウンダー MID-G 特集 2023

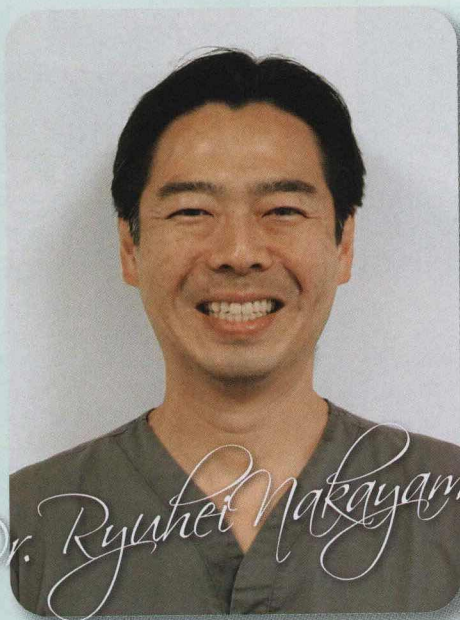
特集

クイントおススメ求人 2023

医療法人社団ライオン会 / 医療法人社団世抗会 / 医療法人社団翼会 MI 総合歯科クリニック /
医療法人 G-D-C / なかお歯科クリニック ほか多数

QUINTESSENCE PUBLISHING

クインテッセンス出版株式会社



Quintessence DENTAL

Implantology

医科歯科連携で 地域医療を活性化

～地元でのより良い歯科医療を目指して～

山中隆平（やまなか・りゅうへい）

2000年、昭和大学歯学部卒業、第一口腔外科入局。2003年、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）留学、Advanced Implantology Preceptorship 修了。2004年、Periodontology Preceptorship 修了。2006年、帰国後、昭和大学歯科病院口腔外科に勤務。2007年、東京ミッドタウンデンタルクリニック勤務。2011年、山中デンタルクリニック開院。2013年、医療法人社団ルークスマイル理事長。日本口腔外科学会会員、Club GP 理事、gIDE Faculty Member。地元である東京都杉並区で自院を開院し、インプラント治療に傾注する傍ら、セミナーや講演活動を国内のみならず海外でも行っている。

浜田山の地域性や特徴

——先生はこの浜田山（東京都杉並区）で開業されて、お父様が運営されている内科や小児科（山中医院）、弟さんが院長をされている小児歯科（やまなかこども歯科）と密な連携を取られていると伺っていますが、まずは浜田山の地域性や特徴などを教えていただけますか？

山中：わたしは地元である浜田山の小学校・中学校に行き、最終的にここで仕事をしていますが、子どもに対する教育がしっかりしている地域だと思います。私どもの医療法人のやまなかこども歯科は今年オープンしましたが、保護者がかなり親身になって子どもの口腔内状態を聞いたり矯正治療などをしたりしていて、モチベーションが高い方が多いと感じます。一方で、高齢の方も比較的いらっしゃるので、祖父母・親・子と3世代で通われる方もいます。当院（図1）では予防に力を入れているので、定期的に来てくれて「やっぱりここで治療してもらいたい」と言ってもらえることも多いです。そういった背景もあり、1階を少し広めに取って、歯科衛生士も1人1台ずつ

チェアを使う仕様にしておくと実感します。また、地元の一員として、地域でしっかり診て連携していくというつながりを持つのが昔から大事だと思っていて、今ようやくそれが定着しつつあります。

当院では保険治療も自由診療も行っていますが、割合的には自由診療の患者さんが多いです。逆に言うと、予防の大切さも痛感しているのが、当院で積極的に予防を推し進めています。

他科との連携

——先生の歯科医院において診療時の特徴はありますか？

山中：診療の際、当院の入っているビル1階にある血液内科の澤登先生（図2）のクリニック（ごきげんクリニック）と連携することがあります。外科診療前に血液検査をしたら、糖尿病がひどかったという事例もあったので、やはり患者さんの全身的な状態を見ながら治療していくことは非常に大事だと思います。結果的に、患者さんも自分の体の中をもう一度見つめ直す機会にもなります。

また、澤登先生のクリニックではアンチエイジングなどの診療もされてい

るので、当院でも、手術前後の患者さんや口内炎がよくできる患者さんに、適切なサプリメントをお勧めして全身ケアをすることがあります。澤登先生に勉強会を開いていただき（図3）、われわれもサプリメントを試してその効果を実感することができました。

——先生の歯科医院でインプラント治療などの外科治療をされる際は、血液検査をお勧めしていますか？

山中：そうですね。強いことはなかなか難しいのですが、全身的な値を見て治療を進めることの重要性を理解していただける患者さんに、積極的に検査してもらうようにしています。そういったところから、ふと基礎疾患や重篤な疾患が見つかるかもしれません。

——やはり糖尿病や喫煙などが問題になることが多いですか？

山中：そうですね。喫煙とインプラント治療の関係についてはさまざまなデータが報告されていますが、喫煙の影響でネガティブな要素が出てくることを歯科から言わないといけない時もあるので、検査は必要だと思います。

糖尿病に関してもデータを見ます



図1 当クリニックの外観。同建物には山中医院とごきげんクリニック浜田山があり、写真には写っていないが、隣の建物1階にはやまなかこども歯科と山中デンタルラボがあり連携治療を行っている。



図2 当クリニックと医療連携しているごきげんクリニックの院長、澤登雅一先生。全身的なケアと予防を心掛けている。



図3 定期的に院内勉強会を行っており、全身的な疾患や口腔内との関連性など健康に関することをスタッフで学ぶ。



図4 全身的な精密検査が必要と思われる患者さんはニューハート病院で迅速に診ていただく。



図5 当クリニックで行っているライブサージェリー。すべて動画は VisualMax に保存している。

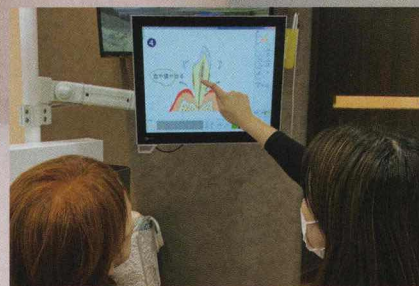


図6 患者さんへの説明はわかりやすくすることをモットーにしている。VisualMax は各チェアにあり、直接モニターに書くことができその場で印刷して患者さんにお渡しできる。また、スタッフ一同で統一性のある説明をしている。

が、澤登先生はさらに細かい数値を見て診断ができるので血液の分析してもらっています。結果的に、歯科治療が成功する可能性がより高くなると考えています。

——血液内科のほかに密に連携を取る科はありますか？

山中：近くにある、ニューハート・ワタナベ国際病院という心臓血管外科のある医院と連携を取ることがあります(図4)。術前・術後の口腔内ケアの重要性をその医院の先生方にご理解いただいているので、現在、口腔内ケアなどについての連携をしています。

入院時や麻酔科の間診などがあった時に、患者さんに当院へ来ていただくことがあります。実際に重篤な歯周病にかかっていることがあるので、現状から今後のコントロールの仕方などのご提案もします。お互いの医療の専門の立場から、患者さんのことをさまざまな方向からしっかり診ています。

——患者さんからしたら、これだけ近

いところにさまざまな科があって、全身的に管理してもらえるとというのは非常に安心できますね。

定期的な通院における利点

——先生が開業されてから12年になるということですが、その間ずっと通われている患者さんの口腔内の変化が見えた事例はありましたか？

山中：ブランクコントロールをしているのに出血が多いなと思っていたところ、血液系の病気が見つかったことがあったり、血圧が意外と高かった時に検査してみたら高血圧症が判明したりしたこともありました。

長期間通われている理由としては、歯科衛生士が担当制で、患者さんと歯科衛生士・歯科医師の関係が保たれているので、来院する患者さんもすごく楽しみに来てくれているのだと思います。

また、当院では、「良くなっている」、「維持できている」ということをビジュアル化しています。VisualMax (ビジュアルマックス)というソフトを

使って、10年以上前のX線写真もすぐモニターで見られるようになっていきます(図5、6)。動画でも記録して、いつ患者さんが来られてもそれを見られるような状態にしています。やはり、ビジュアルを見せて説明していくということは、これからのコンサルテーションや予防を推進する観点からも非常に大切です。それこそ血液の値がどんどん良くなっていくのも見て理解していくわけなので、ただ単に来院してもらっただけではありません。

——最後に、今後どういった医院にしていきたいかを教えていただけますでしょうか？

山中：より良い歯科治療をするために、これからも他科と連携していきたいです。また、日々勉強を重ねてアップデートし、さまざまな患者さんに来ていただける医院にしたいと考えています。